

# 羽茂高等学校 後援会だより

発行

佐渡市羽茂本郷410  
新潟県立羽茂高等学校  
後援会



## 羽茂高校の充実発展を 求めて

後援会長 中川 淳

羽茂高校は、昨年、創立80周年にあたり記念事業を盛大に行いました。多くの方々の事業寄付により、真夏の教室のエアコン施設その他の機器を整備し、冷房の当面の費用を確保しております。

昭和9年、村予算の53%が教育に支出されて開校した農学校が、地域の後期中等教育を担う羽茂高校として内外に多くの人材を輩出してきております。新聞に一頁判で、宮本常一先生と地元青年の記事が載りました。著書の「佐渡」には高校の記述があります。

近年の人口減少と少子化の波はこの地域においても同様で、

一学年二学級の募集規模ですが、南佐渡唯一の高校としての伝統ある特色を出して教育環境の整備充実に努めております。学生に魅力あるカリキュラムと部活動、郷土芸能部の全国大会表彰等、佐渡の芸能に特色を持つ高校です。さらに、教育の場としての内容の充実に協力してまいりたいと存じます。

私にはこんな思いがあります。井桁朔次後援会長のもと、本間安春同窓会長、河原校長、寺



## 地域とともにある羽高

校長 山川 徹也

尾事務長とご一緒に羽茂高校の新築移転や創立50周年記念事業、軟式野球部の全国大会出場など、これ等に地域を始め多くの皆様に大変なご協力を頂いた事でございます。地域を挙げて羽茂高校を愛し立派な教育の場

として発展するようお力添えをいただきたいと存じます。さらに、教育の場としての内容の充実に協力してまいりたい所存です。皆様の一層のご理解とご協力ご支援をお願い申し上げます。

二十一世紀に入り、社会環境の変化はその速度を上げており、私たちが日々生活している、この南佐渡の地域においても情報化、技術革新が進んでいきます。また同時に、高齢化、少子化も急速に進んでいることも事実です。このことは、この地域に限ったことではなく、新潟県や日本全体の深刻な課題となつていきます。

羽茂高校も、志願者数の減少のため、今年度の新入生は四十九名であり、全校生徒は百六十六名です。学年二学級という小規模校であり、なお人数的には定員に達していない状況ですが、このことを少人数で余裕ある学習環境と捉え、生徒一人ひとりの「個」を大事にした、丁寧な教育活動を実践しています。

羽茂高校の主な通学区域にある各中学校の卒業生数は、漸減していくことが予測されています。このような変化の中で、羽茂高校が南佐渡の地域にとつて、「唯一無二」のかけがえのない学校として存在し、生徒が「入りたい学校」「進路実現できる学校」として日々成長していかなければならないことを強く感じています。

羽茂高校では、これらの使命を認識し、地域との緊密な連携のもと、変化する社会に柔軟に対応する「生きる力」を育成し、能力や適性が多様な生徒一人ひとりの個性を伸ばすため、基礎・基本を重視した学力の向上を図り、魅力ある学校づくりの推進に努めています。生徒たちの学校生活をさらに充実させる、羽茂高校をより発展させるためには、地域の皆様のご理解ご協力が不可欠です。これまで同様、関係各位のいっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 「開花信」

P T A会長  
岡崎 一也

信ずれば花開く。座右の銘にしたような美しい言葉ですが、今年羽茂高等学校はこの言葉をいくつか実感・経験する年になりました。その一つ、私は郷土芸能部の全国発表会に応援団として参加(カメラ撮影係)してきました。結果は全国優良賞(2校、同率3位相当)受賞ということになりました、発表を見てこの学校は然るべく準備を調べれば必ず全国優勝できると確信しました。またそのような感動を観客に十分与えておりました。地域の皆様の応援・御指導の賜物でもあります、感謝申し上げます。

またさらに、より多くの方の応援を頂きたいと思えます。「平成27年7月びわこ総文全国大会において全国優良賞を受賞した羽茂高等学校郷土芸能部を応援することにより、地域や佐渡市の魅力を発見・再確認し、それにより地域・佐渡市の活性化に資す。」ことにつながります。

また9月に開催された学園祭に同窓会・地域の皆様の多数の観覧・見学を頂きました事に御礼を申し上げます、今後とも本校をよろしくお願い申し上げます。



生徒総会(4月)



赤軍・青軍対抗で行われた活気あふれる夏季学園祭



平成27年春佐渡地区大会、男女団体優勝した剣道部



バドミントン部(男女)



夏17名、秋の公式戦1・2年14名で勝利





2015 滋賀びわこ総文優良賞受賞の郷土芸能部「小木おけさ」



2016 全国総文祭(広島大会)出場権を獲得「羽茂甚句」



2015 滋賀びわこ総文ステージ「佐渡おけさ」



全国大会まで駆け付けてくださった保護者、応援隊



秋季学園祭で、在校生や保護者、地域の方々に凱旋報告



宿根木地区を案内、「英語ガイド養成講座」現地トレーニング

活気あふれる羽茂高校

教頭 羽豆 拓夫

南佐渡にある羽茂高校は小規模校ですが、小規模であることを長所ととらえた教育活動が活発に行われています。体育祭や文化祭などの生徒会行事では、生徒が一人何役もこなし、自分の能力を試す機会が豊富にあります。実際、行事に参加していると、生徒が在籍人数の何倍もいるような活気があります。部活動も盛んです。一人一人の生徒が仲間とともに励まし合いながら成長しています。

近年、南佐渡の地域以外から通学している生徒が一定数います。中学校までは思うような学校生活を送ることができなかった人も、南佐渡の大らかな生徒に囲まれ、新たな環境の下で生き生きと学校生活を送るようになった人たちもいます。羽茂高校は特別支援教育にも力をいれており、一人一人の生徒のことを考えた少人数のきめ細やかな教育活動が行われています。地域の方々に愛されている羽茂高校にぜひ一人でも多くのおみなさんに入學していただきたいと思っています。よろしくお願ひします。

進路状況

キャリア教育部担当

(進路指導)

笹川 祐峰

進学に関しては、10月～11月にかけて大学・短大・専門学校  
のAO入試や推薦入試の結果が  
続々と報告され、多くの喜びの  
声を聞いています。また、現在  
は国立公立大学等の推薦入試やセ  
ンター試験を含めた一般入試に  
向けて、生徒たちは小論文・面  
接・各教科の勉強に一生懸命取  
り組んでいるところです。

就職に関しては、今年は例年  
以上に順調に内定をいただき、  
ほとんどの生徒が就職先を決定  
いたしました。就職内定100%を  
目指して、今後も指導を続けて  
いきたいと考えています。

本校では、生徒一人一人が希  
望進路を実現できるように、先  
生方が一丸となって放課後の進  
学補習や小論文・面接等の個別  
指導をきめ細かく行っています。  
今年度も残り4ヶ月ほどになり  
ましたが、生徒とともに最後まで  
頑張っていきたいと思ひます。

平成 26 年度 卒業生の進学状況

卒業年次				平成 26 年度			
卒業生数				53			
進 学	大 学	国 公 立	男	0	3	7	38
			女	3			
		私 立	男	3	4		
			女	1			
	短 期 大 学		男	1	2		
			女	1			
	専 修 ・ 各 種 学 校		男	13	29		
			女	16			
就 職		男	9	15		15	
		女	6				
大学等への進学率				17.0% (9人)			

主な進路行事

月	行 事
4	新入生意識啓発講演会、家庭学習強化週間、進路希望調査
5	受験オリエンテーション、職業講話
6	第1回進路ガイダンス
7	就職ガイダンス、職場見学(3年)、総合学力テスト
8	職場見学(1年)、インターンシップ(2年)、学習合宿
9	大学入試センター試験出願指導
10	第2回進路ガイダンス、進路希望調査
11	総合学力テスト
12	大学入試センター試験プレテスト
1	大学入試センター自己採点、社会人準備セミナー
2	就職先希望調査(2年)
3	第3回進路ガイダンス

題字 中川 淳  
編集 中原 雅司